

理事長	学 長	学長室長	事務部長	担当課長	係 員
	菊池	塩塚	松尾		松尾 徳田



大基委大評第 195 号  
平成 24 年 3 月 9 日

西日本工業大学  
学長 菊池 重昭 殿

財団法人 大学基準協会  
会長 納 谷 廣 美

貴大学の「改善報告書」の検討結果について（通知）

標記に関し、本年度、貴大学よりご提出頂きました「改善報告書」につきましては、大学評価委員会において慎重な審議を行い、別紙の通り検討結果をとりまとめましたので、ここにご通知申し上げます。

添付資料 「改善報告書検討結果（西日本工業大学）」

以上

## 〈 改善報告書検討結果（西日本工業大学） 〉

### [1] 概評

2007（平成19）年度の本協会による大学評価に際し、問題点の指摘に関する提言として12点の改善報告を求めた。今回提出された改善報告書からは、これらの提言を真摯に受け止め、意欲的に改善に取り組んでいることが確認できる。

ただし、次に述べる取り組みの成果が十分に表れていない事項については、引き続き一層の努力が望まれる。

教育内容・方法については、全学部において、授業評価アンケートが特定の科目のみ実施されていたが、2011（平成23）年度から全科目で実施することとし、同年度の後期分よりアンケート結果をホームページで公開することを予定しているため、今後の推移を見守りたい。

教員組織については、工学部における51～60歳の専任教員の占める割合は、ある程度改善されたと認められるが、同学部の専任教員の年齢構成は十分にバランスがとれているとはいえないので、今後も引き続き努力が望まれる。また、工学研究科における研究指導のための教員組織体制の脆弱性については、改善への努力はなされているものの、まだ十分に体制が強化されたとはいえないので、引き続き努力が望まれる。

### [2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

以 上